

神奈川県立がんセンター 骨軟部腫瘍外科 レジデント研修評価表 (年次)

レジデント	期 (氏名)	2022.3 ver.1
指導医		
研修期間	年 月 日～ 年 月 日	レジデントは太枠内を記入
がん専門医研修における泌尿器科医としての下記の研修目標について自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。		
	A:修得した B:ほぼ修得した O:目標に達しない	
	自己評価	指導医評価
1. 以下の泌尿器科領域の臓器の病態生理を理解している。		
1) 画像診断, 病理診断	A・B・C	A・B・C
①各腫画像所見の理解	A・B・C	
②針組織生検・切開生検	A・B・C	
2) インフォームド・コンセント	A・B・C	A・B・C
3) 病棟スタッフとの情報共有	A・B・C	A・B・C
4) 他部門との情報交換	A・B・C	
5) 緩和医療	A・B・C	A・B・C
6) リハビリテーション部門との関わり	A・B・C	A・B・C
7) 学術的活動	A・B・C	A・B・C
疾患項目		
1. 良性骨軟部腫瘍	A・B・C	A・B・C
1) 治療法の選択	A・B・C	A・B・C
2) 薬物療法の修得	A・B・C	A・B・C
3) 手術手技の修得	A・B・C	A・B・C
4) 後療法の修得	A・B・C	A・B・C
2. 転移性骨軟部腫瘍	A・B・C	A・B・C
1) 治療法の選択	A・B・C	A・B・C
2) 薬物療法の修得	A・B・C	A・B・C
3) 手術手技の修得	A・B・C	A・B・C
4) 後療法の修得	A・B・C	A・B・C
3. 肉腫	A・B・C	A・B・C
1) 治療法の選択	A・B・C	A・B・C
2) 薬物療法の修得	A・B・C	A・B・C
3) 手術手技の修得	A・B・C	A・B・C
4) 後療法の修得	A・B・C	A・B・C
5) 手術標本の評価	A・B・C	A・B・C
6) 適切なfollow upの修得	A・B・C	A・B・C
レジデント自由記載欄：(欄不足の場合は裏面へ)		
評価： 年 月 日	判定： 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可	
指導医記載欄：		

提出方法: レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。